

よもよも vol.5

「よもよも」は、ティーンズコーナーのおすすめ本を紹介しています。

「笑えよ」

工藤 水生（著）

メディアファクトリー YA Fクド

受験まで450日！同じ予備校に通っていることだけが共通点の同級生男女3人の奇妙な関係がはじまった…。

それはある放課後のこと。学年一の秀才橋立くんが、学年一の人気者仲平くんの席に座り、切なげに机を撫でているところを目撃してしまった柏木葉は、なぜか橋立くん^にに心惹かれてしまう。勉強を教えてもらうという^{てい}態で橋立くん^にに徐々に近づいていき、一緒に過ごす中で、“本当に橋立は仲平が好きなのか”“自分のこの気持ちは何なのか”を検証しようとする葉。同じ予備校に通っているのを理由に仲平くんを勉強会に誘い、葉の行動はヒートアップしていく。そしてついに「おれ、女のひとがだめなんだ」と橋立くんが告白。

人を好きになったことがない葉、女の人^ががだめな橋立くん、そして仲平くんにも誰にも言えない秘密があって…。

葉、橋立、仲平のそれぞれの悩みや想いがジワーと心に染み渡っていきます。誰かが悪いわけじゃないのに、どうしようもできない現実でもがく3人。続きが気になってページが進む進む！小さくても大きくても悩み事は悩み事！悩んで、うー!!ってなっている人にこそ読んでもらいたいです♪ラスト一行の爽快感はたまりません！

POPでこんな本 紹介しました!

2012年夏……。図書館のティーンズコーナーでは、いろんな本にPOP(その本のおもしろポイント紹介文のようなもの)をつけて本を紹介しました。とっても好評だったので、とくに評判の良かった本を再紹介します。

「ノーブルチルドレン」シリーズ

綾崎 隼 (著)

YA Fアヤ

POPをつけてからの問い合わせ率 No.1!
現代版ロミオとジュリエットのような、このシリーズ。「ノーブルチルドレンの残酷」「～告別」「～断罪」「～愛情」の全4巻。

大財閥の跡取り息子・舞原吐季まいばらと きと、医療界を牛耳る一族の娘千桜緑葉ちざくらみどりは、一族同士が敵対する因縁の関係。一つだけあいた部室の奪いあいを発端に出会った2人。複雑な家庭環境から、幸せになることをあきらめている美少年の吐季に、無神経なほどに自信家で善良な緑葉は、生まれて初めて恋に落ちてしまい……

緑葉から絶大なる信頼をよせられているいとこの桜塚歩夢さくらづかあゆむ、吐季の中学時代からのクラスメイト琴弾麗羅ことひきれいら、緑葉のクラスメイトで謎めいた女・長谷見芽衣はせみめい。2人の周りにはいるキャラたちも、ひと癖ふた癖もあるクセものぞろい。意外なところで重なり合う様々な人間関係、憎しみや愛情がからまりながら、ぐんぐん進展するストーリーに目が離せない。2人の未来にあるのは絶望? 希望? 障害だらけの二人の恋は、一体どうなるの!?



琴弾麗羅



舞原吐季



千桜緑葉



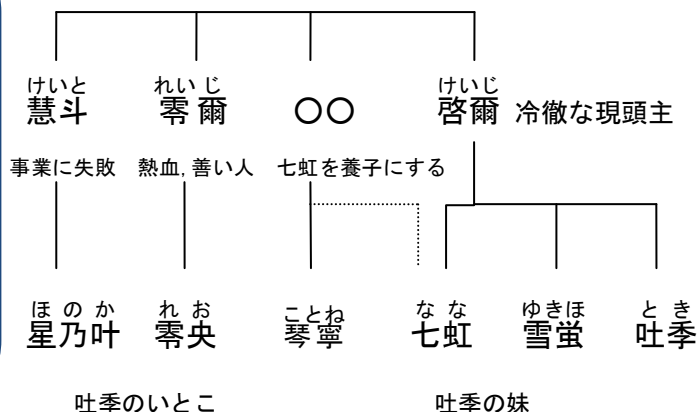
桜塚歩夢

「花鳥風月」シリーズ

綾崎 隼 (著) YA Fアヤ

ノーブルチルドレンシリーズの吐季の一族、舞原家の人々が登場する別シリーズ。吐季や緑葉の出る場面も！あの人のあんな過去、そんなつながりがあったなんて！と、ちょっと得した気分も味わえます。

大財閥 舞原家(なぜかイケメン、美女だらけの一族)



「蒼空時雨」 れお 零央 「初恋彗星」 ほのか 星乃叶 「永遠虹路」 なな 七虹 「吐息雪色」 ゆきほ 雪螢

「TOKUGAWA15」

堀口 茉純 (著) YA 210.5

「大奥」など、ちょっとした江戸時代ブームにちなんでか、徳川幕府15代将軍をずらーっと紹介したこの本も人気でした。日本史の授業で絶対に出てくる徳川家。初代の家康くらいはわかるけど、他はもう似たような名前がいっぱいやし、誰が何代目で何したとか、ほんまに覚えにくいな！（怒）と思ったことある人も多いはず。そんな方でも、笑いながら読めてしまう。しかもちょっと頭良くなった気もする・・・なんてお得な本なんだ！まあとりあえず、有名な将軍だけでもおさえとくか、みたいなちょい読みでも楽しめます。将軍なんて偉そうやけど、実はこんな人やったん？みたいな裏話もあります。お勉強の本なんてご遠慮させてもらいます、という人もパラパラ〜っと気軽に楽しんでみてはいかが？

勝手に

装丁大賞！

お久しぶりのこの企画。どんな内容かは知らんけど、装丁が好きなら読んでみたい・・・うっかり「ジャケ読み」してしまうほどのステキ装丁を、勝手に決めていくこのコーナー。第4回装丁大賞はこの本です。

「ロミオとジュリエット」

シェイクスピア（著）

新潮社

YA 932

「おお、ロミオ、ロミオ！

なぜあなたはロミオなの？」

ジュリエットがバルコニーで嘆くこのセリフで有名な、この作品をご紹介します。

超！有名なシェイクスピアの、超！有名な「ロミオとジュリエット」。映画やお芝居、テレビなどで、あらずじだけはなんとなく知ってるという人も多いのでは？

キャピュレット家のジュリエットとモンタギュー家のロミオ、敵対する家に生まれてしまった2人の、結ばれぬ運命の悲しいラブストーリー。原作は脚本のかたちなので、登場人物になりきって読むのもありかも。

そこで、おすすめなのが、このクラシカルで雰囲気のあるイラストが表紙の「ロミオとジュリエット」です。ヨーロッパの古典の名画のようですが、なんと、日本の女性版画家の作品です。ロミオとジュリエットのまだ幼さの残る、それでいて命をかけて恋する二人がとても魅力的です。こんな装丁の表紙で読んだら、思いっきりロマンティックに浸れること、間違いなしです。